17 … 京都市立病院

総合的診療能力を身につけることを研修プログラムの目標としております。

病院概要

所在地	京都府京都市中京区壬生東高田町 1-2
開設者	地方独立行政法人京都市立病院機構
開設年	昭和 40 年 12 月 1 日
病院長名	黒田　啓史
病床数	548 床
医師数	常勤約 200 名

診療科

内科、呼吸器内科、消化器内科、腫瘍内科、循環器内科、腎臓内科、脳神経内科、血液内科、内分泌内科、糖尿病代謝内科、アレルギー科、感染症内科、精神科、小児科、外科、消化器外科、乳腺外科、小児外科、呼吸器外科、脳神経外科、整形外科、リハビリテーション科、リウマチ科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科、放射線診断科、放射線治療科、病理診断科、臨床検査科、麻酔科、救急科、緩和ケア内科

当院での初期臨床研修期間においては、各診療科のローテート研修を通して基本的な技術や知識を習得することはもちろんのこと、院内での各種研修会等において、臨床医として必要な資質を修得します。これらの取り組みを通じて、臨床研修修了時には、自分自身で考え、計画を立て、実践し、検証することができる、いわゆる医療推論ができる医師として成長することを目指しています。

研修プログラムの方針及び特徴

方針	当院は、各診療科の学会指定研修・教育施設であり、医師として適切に初期診療を行えるよう基本的な知識と技能を修得すると同時に、各診療科の専門（認定）医制度の初期教育プログラムに基づく研修を行っています。また、中央病歴室を完備し、各科共通カルテを使用しています。各診療科間の対診も活発に行われるので、研修医は専門的な指導を受けながら、患者中心の全人的なチーム医療を学ぶことになります。
特徴	1年目には内科を中心とした必修の診療科を研修し、総合医としての基盤をしっかりと固めます。それを踏まえ、2年目は小児科や産婦人科、地域医療、精神科等の様々な分野の診療科を研修し、知識や技能の幅をさらに広げていきます。また、将来専攻希望の診療科を中心とした希望選択科の枠を設けており、将来を見据えながら、総合的診療能力を養成できるプログラムとなっています。

初期臨床研修スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内　科（24 週）						麻酔科	麻酔科･救急科	救急科	外科系（8週）		放射線科
2年次	救急科	地域医療（8週）		小児科（6週）		産婦人科（6週）	精神科	麻酔科	選択科（16 週）			

プログラム責任者	糖尿病代謝内科部長　小暮　彰典

募集要項（2025年度採用）

採用予定数	12名	出願期間	令和6年7月8日（月）から令和6年7月31日（水）必着
		試験日	令和6年8月16日（金）※今後スケジュールが変更される場合があります。

待遇・処遇

雇用形態	常勤（有期雇用職員）			
給与	1年次　343,480円／月　賞与　551,270円／年(令和5年度支給実績に基づいて算定) 2年次　359,745円／月　賞与　677,912円／年(令和5年度支給実績に基づいて算定) ※月額給与については、地域手当及び診療業績手当を含む。　※これらの給与については、社会情勢に応じて変動する場合があります。			
手当	診療業績手当（3ヶ月毎に支給）：184,500 円（1 年目）、195,000 円（2 年目） 救急勤務医手当：5,000 円（日直）、10,000 円（宿直）　オンコール手当：5,000 円、10,000 円（複数回登院） 宿日直手当：10,000 円（日直、宿直、副直）　変則勤務手当：2,000 円（22 時～翌 5 時の正規勤務） 通勤手当あり、地域手当あり、時間外手当あり、休日勤務手当あり、夜間勤務手当あり etc			
勤務時間	8：30 ～ 17：15、8：30 ～ 2：00 及び 17：15 ～ 2：00			
休暇	有給休暇（1 年次）：20 日　（2 年次）：20 日　夏期休暇あり（5 日）、年末年始休暇あり（12/29 ～ 1/3）etc			
社会保険	地方公務員共済組合法適用、雇用保険法適用、地方公務員災害補償法適用			
当直／副直	当直	約 4 回／月	副直	約 2 回／月（特定の診療科のみ）
宿舎	なし			
その他設備	全館Wi-Fi完備、院内保育所あり、仮眠室あり、図書室あり　etc			

問い合わせ先

担当部署	京都市立病院　事務局　総務担当	担当者名	北川　エリカ
電話番号	075-311-5311	Eメール	ekitagawa@kch-org.jp